



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2021 5 月号
Vol.123
毎月1回発行(通巻123号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 http://www.JMMPA.jp/

第10回「全国医療経営士実践研究大会」WEB大会のプログラムが決定 新しい時代の医療の実現に向けて 医療経営士の英知を結集しよう!

当協会が本年11月に開催する第10回全国大会のプログラムが決定した。大会運営委員長には当協会参与で中央大学大学院戦略経営研究科教授の真野俊樹氏が就任する。WEB配信の特性を活かしながら、さらなる内容の充実を図った今大会の概要や登壇者を紹介する。

「録画」と「ライブ」 双方のメリットを活かす

初の完全WEB開催となる今大会のプログラムは、開催期間中(11月1日「月」～30日「火」)の好きな日時に見聴できる「録画配信」と質疑応答が可能な「ライブ配信」を組み合わせた構成となった(下表)。「ライブ配信」のプログラムは配信日(未定)以降、録画再配信を行う。

基調対談では、厚生労働省顧問(初代医務技監)の鈴木康裕氏と大会運営委員長の真野俊樹氏が「ポストコロナ時代の医療改革」について議論を交わす。コロナ禍で浮き彫りになった新たな問題を含め、課題山積の医療にはどのような改革が必要なのか。初代医務技監として保健医療政策の立案にかかわってきた鈴木氏の発言に注目したい。

トークセッション(座談会)「医療の新潮流と進化 するマネジメント」では、 ハイズ株式会社代表取締役 社長の裴英洙氏が座長を務 める。出演者は未定だが、 医療DXや患者本位の医療 の実現に向けた将来展望、 医療経営士が果たすべき役 割について語っていた。

多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長の石井富美氏が進行役を務めるスペシャルトークセッション「医療経営士思考塾」は、「ライブ配信」の特性を活かしたプログラムだ。医療経営士1級の長英一郎氏、網代祐介氏、出雲貴文氏が出演し、医療経営に関するさまざまな悩みに対する解決策を参加者との議論を通して考えていく。

演題発表はWEB配信ならではの発表スタイルへ
演題発表は演題テーマ

| 第10回全国大会 大会プログラム | | 開催期間: 11月1日月~30日火 |
|-------------------|---|-------------------|
| 配信方式 | プログラム・登壇者 | |
| 録画30分 | 基調対談 ポストコロナ時代の医療改革 鈴木康裕氏 (厚生労働省顧問[初代医務技監]/国際医療福祉大学副学長) 真野俊樹氏 (中央大学大学院戦略経営研究科教授/ 一般社団法人日本医療経営実践協会参与) | |
| 録画60分 | トークセッション 座談会 医療の新潮流と進化するマネジメント —改革の起爆剤はDX人材?— どうなる? 患者本位の医療 [座長]裴英洙氏 (ハイズ株式会社代表取締役社長/慶應義塾大学特任教授) [出演]4名を予定 | |
| ライブ60分 | スペシャルトークセッション 医療経営士 思考塾 医療経営に関する悩みを参加者全員で考えよう! 石井富美氏 (多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長) 長英一郎氏 (東日本税理士法人代表社員・所長/公認会計士/医療経営士1級) 網代祐介氏 (社会医療法人社団光仁会第一病院医療福祉連携室室長、 法人管理企画部兼務/医療経営士1級) 出雲貴文氏 (医療法人沖繩徳洲会薬剤部長[薬局薬剤師]/医療経営士1級) | |
| 医療経営士 演題発表 | | |
| | 審査委員長メッセージ 吉長成恭氏 (広島経済大学特別客員教授/一般社団法人日本医療経営実践協会参与) | |
| 録画各15分 | 演題発表(テーマ:ポストコロナ時代の医療経営) | |

※4月30日(金)現在、プログラムは諸般の事情により変更になる場合がございます
※ライブ配信の配信日時は未定。ライブ配信後、開催期間中は録画再配信

「ポストコロナ時代の医療経営」に沿った発表を事前に収録して配信する。発表時間は1人当たり15分。審査委員長は吉長成恭氏(広島経済大学特別客員教授)が務める。各賞の受賞者は大会終了後に発表する予定。参加エントリーならびに演題発表登録は、6月に協会ホームページで受付開始。多くの医療経営士の参加と、演題発表への積極果敢な挑戦をお待ちしている。

第10回

全国医療経営士実践研究大会 WEB大会

参加エントリー/演題発表登録
6月より受付開始!

開催期間

2021年

11月1日月

▶30日火

医療経営士が挑む 「ポストコロナ時代の医療改革」

—今こそ英知を結集し、マネジメントを進化させよう!

大会テーマ

大会運営委員長 | **真野俊樹**

中央大学大学院戦略経営研究科教授/一般社団法人日本医療経営実践協会参与

【事務局】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-3553-2906 http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokutaiikai/



「地域密着青森勉強会」代表幹事の菊地俊輔氏

青森県には病院事務職員が医療経営を学ぶ勉強会がなく、横のつながりがつくりにくかった現状があります。そこで、2019年開催の第8回「全国医療経営士実践研究大会」仙台大会で知り合った、八戸市立市民病院管理課主幹の下野晃さん、青森保健生活協同組合の葛西直哉さんに相談したところ、「自分たちで勉強会を立ち上げよう！」と盛り上がりました。その後、十和田市立中央病院業務課

5月15日(土)
第1回勉強会開催

横のつながりをつくり 継続的な成長を目指す！

新たに東北支部「地域密着青森勉強会」が発足

青森県の医療経営士や病院事務職員が主体となって活動する「地域密着青森勉強会」が発足。5月15日(土)に第1回勉強会をオンラインで開催する。同会の代表幹事を務める医療法人芙蓉会芙蓉会病院事務部総務課係長代理の菊地俊輔氏に、勉強会立ち上げの動機や今後の活動についてうかがった。

学ぶ場がないなら
自らつくればいい！

施設管理係主査の竹内雅紀さんとDALI株式会社事業開発部副部長の小泉斎さんもメンバーに加わって、青森市の居酒屋で3S(白モツ、白レバー、白「塩」サワー)を手に結成の誓いをしたのが2020年1月のことです。皆でアイデアを出し合った結果、同年4月から活動を開始する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会場に集まったかたちでの勉強会は断念しました。新型コロナウイルスはまだまだ収束が見えませんが、こうした難しい環境下だからこそ、活動事例の共有や医療経営士としての横のつながりが大切だと考え、活動をスタートすることにしました。

5月15日(土)にオンラインで開催する第1回勉強会のテーマは、皆さんの注目度が高い診療報酬改定にすることになりました。講師は、日頃から青森勉強会の御意見番として活動を支えてくださっている青森県立中央病院上席医事専門官の松谷厚聖さんが務めます。松谷さんは、診療報酬をはじめとする医療政策全般に非常に造詣が深く、「改定に向けてどのような準備を進めると効果的か」を中心に話していただきます。赤字続きであった青森県立中央病院を9年連続で黒字に導いた具体的手法が聞けますので、きっと皆さんの活動の一助になるはずです。

「人」から学ぶ場としての
情報共有ネットワーク

今後、どのような活動をしていくかについては、立ち上げのメンバーで意見を出し合ったのですが、アイ

デアがあり過ぎて明確に表現しにくいところでした。ただ、勉強会発足の原点が「横のつながり」ですから、そこは外さないような活動をしていきたいと思っています。それはメンバーの共通

認識です。所属先の損得だけに固執せず、広く地域医療の向上につながるような情報共有ネットワークをつくり上げたいと思っています。勉強会立ち上げのきっかけとなった居酒屋で仲間の想いを聞いて、「こんなに暑苦しいほど病院のことを考えている人たちが青森にもいる！」と嬉しくなりました。社会人になってからの学びは「人」「本」「旅」からと言います。かけがえない仲間たちと一緒に、「人」から学ぶ場としての勉強会にするためにも、地域医療を支えている皆さんの方々のご参加をお待ちしています。

第1回勉強会 診療報酬改定対応の流れ

～最速で対応する仕組みづくり～

【開催概要】

- 日時:5月15日(土)13:30～15:30
- 講師:松谷厚聖氏(青森県立中央病院上席医事専門官)
- 開催方式:WEB(ZOOMミーティング)
※マイク、カメラONにてご参加をお願いします
- 参加費:無料 ※医療関連企業勤務者は医療経営士のみ参加可
- お問い合わせ先:日本医療経営実践協会東北支部(担当:三浦、浅石)
TEL:022-281-8536

「地域密着青森勉強会」幹事メンバー

| | |
|-------|---|
| 菊地俊輔氏 | 医療法人芙蓉会芙蓉会病院事務部総務課係長代理、 医療経営士3級 |
| 下野 晃氏 | 八戸市立市民病院管理課主幹、医療経営士3級 |
| 葛西直哉氏 | 青森保健生活協同組合、医療経営士3級 (第8回仙台大会演題発表東北支部長賞受賞) |
| 竹内雅紀氏 | 十和田市立中央病院業務課施設管理係主査 |
| 小泉 斎氏 | DALI株式会社事業開発部副部長 |

医療経営士の参加も大歓迎！ 協力団体セミナーのご案内

第6回「全国栄養経営士のつどい」仙台大会 会場とWEBの同時開催

大変革期を乗り越える新時代の栄養経営 栄養経営士に課せられた役割を考える

職場やお知り合いの
管理栄養士にご紹介ください!!

2021年7月18日(土)

- ▶日時:2021年7月18日(土)10:00～16:15
- ▶会場:ハーネル仙台[宮城県仙台市青葉区本町2-12-7]
※WEB(ZOOM)で同時配信を行います
- ▶参加料:協会正会員(申請中も含む)…5,000円
基礎講習修了者・定期購読者…6,000円 一般…7,000円
※税込、事前登録(2021年6月30日[水])の場合 ※定期購読者は『ヘルスケア・レストラン』他、日本医療企画発行の雑誌定期購読者

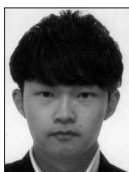
主なプログラム ※敬称略、プログラムは変更になる場合がございます

| | |
|-----------------|---|
| 主催者あいさつ | 宮澤 靖 (一般社団法人日本栄養経営実践協会代表理事、東京医科大学病院栄養管理科科長) 朝倉 徹 (日本栄養経営実践協会東北支部支部長、JCHO仙台南病院院長) |
| 基調講演 | 東日本大震災から10年 栄養管理の最前線と栄養経営士に求められる実践(仮) 土屋 誉 (公益財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院院長) |
| 特別講演 | 新型コロナウイルスの最新事情と栄養分野に期待される役割(仮) 宮田 剛 (岩手県立中央病院院長) |
| ■栄養経営士による実践報告 他 | |

学生の
医療経営士に
聞きました

医療経営士の資格を活かして、 将来の道を切り拓く!

現在、医療経営士として登録している学生は18人。正会員全体(約1万2,000人)の0.2%にも満たない数である。学生でありながら、なぜ医療経営士を取得しようと思ったのか。また、医療経営士になって良かったことや、これから取り組んでみたいことは何なのか。学生の医療経営士の皆さんに、これら3つの質問を投げかけてみたところ、さまざまなご回答をいただいた。学生だからこそ生まれる新しい発想や活動に期待したい。



今後は教育分野とも連携を図りたい

高坂 祐輝 さん

兵庫県立大学 経済学部応用経済学科4年 / 医療経営士3級

Q1 医療経営士の資格取得の経緯・目的

家族に医療従事者が多いこともあり、以前から医療について興味・関心がありました。生活する上で欠かせない医療に関する知見を広めることは、今後の人生においても大いに役立つものと考えます。「どうせ勉強するのなら、資格としてその証を手に入れよう」と思い、医療経営士資格を取得しました。

Q2 医療経営士になって良かったこと

医療経営士として活動した経験があるかと問われれば、何もないというのが現状ですが、COVID-19に関するニュースなどで病床使用率やワクチン接種といった専門的な内容が取り上げられても、しっかり理解することができるようになりました。

Q3 医療経営士として取り組んでいることや、今後やってみたいこと

医療経営士としての取り組みは模索中ですが、小さい頃から医療に関する正しい知識を持つ必要があると思うので、教育の分野とも連携を図っていったらと考えています。



将来の開業に備えて経営力を高める

大池 輝 さん

弘前大学 医学部医学科3年 / 医療経営士3級

Q1 医療経営士の資格取得の経緯・目的

現在、大学の医学部医学科に通っており、将来は医師を目指しています。医師は医学のスペシャリストですが、経営に関しては素人なので、開業医となったときに赤字経営になってしまうリスクがあります。そこで、将来自分が開業したときのことを考え、医療経営士資格を取得することで、医療経営について少しでも詳しくなりたいと思いました。

Q2 医療経営士になって良かったこと

医療経営の知識だけでなく、医療に関する法律や医療問題についても詳しく知ることができました。また、医療経営や法律の知識を学ぶことを通して、多角的な視点から医療について考えられるようになりました。

Q3 医療経営士として取り組んでいることや、今後やってみたいこと

医療経営士資格の勉強を通して、医療経営に関する興味がわき、経営や資産運用の勉強も始めました。大学在学中に、医療経営士2級を取得できるよう頑張りたいと思います。



医療経営士の学びが、
進路を考える上での力になった

佐藤 樹 さん

琉球大学 医学部医学科6年 / 医療経営士3級

Q1 医療経営士の資格取得の経緯・目的

国際保健・医療行政に興味があり、医学部へ入学しました。入学後、海外の社会支援・医療支援の現場に触れる機会をいただき、対比となる日本の医療や社会の問題について無知であることを自覚しました。その反省から、日本の医療について体系的に学べる場を探していたところ、医療経営士という資格があることを知り、学び始めました。

Q2 医療経営士になって良かったこと

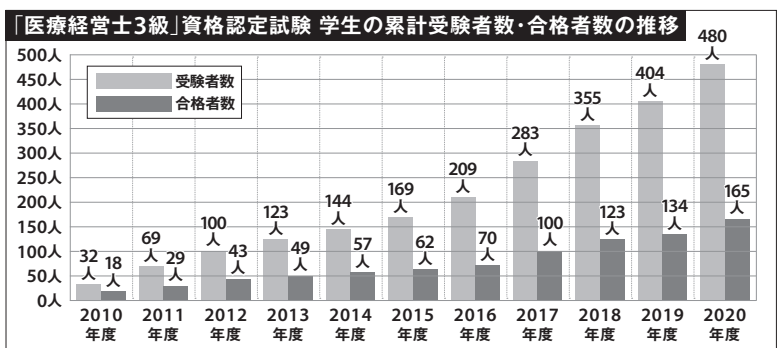
私の場合は公衆衛生などの社会医学に興味があったことから、学ぶことの多くが自身の進路を考える上での力になったと感じています。また、専門性が高い医療職やそれを目指す学生にとって、実際に医療や病院がどんな方々によって、どのように運営されているのかという、医療の全体像を学ぶことは大きな利点だと考えます。

Q3 医療経営士として取り組んでいることや、今後やってみたいこと

「医療経営士として」何かの業務にあたったことはまだありませんが、「医療経営士の資格を持っている」という個性のおかげで、病院経営や社会医学に興味関心の強い人間だと認知していただきやすくなり、そういった分野に関わる勉強会や仕事のお誘いをいただけるようになりました。

将来は、臨床や行政、企業などのキャリアを経ながら、医療経営士としての知識を活かし、医療者の働き方改革、地域社会・医療・介護の連携推進などにに関わりたいと考えております。

最終的には、入学のきっかけにもなった国際保健の場で、知識と経験を活かすことができれば——と考えているのですが、まずは医療経営の知識を深めるために、6月の医療経営士2級試験に向けて精進してまいります。



コロナ禍で経営が悪化している病院経営者・医療経営士必見!!

日本ヘルスケア経営学院 公開講座 WEBセミナー

5月中旬
配信開始!

マンスリーレポート(月次経営指標)作成と活動

~見える化 Before After~

講座概要

講師を務める
中神勇輝氏

本講座は、経営の“見える化”を推進し、健全経営を具現化するツールとして、マンスリーレポート(月次経営指標)を紹介。作成の目的、意義、効果などを解説します。作成を通じ、経営の“見える化”を体感してみませんか?

※本講座の視聴後、実際にマンスリーレポートの作成をご希望する医療機関様向けに、作成の仕方、数値の読み方などについてレクチャーするサービスもございます。詳しくは下記までお問い合わせください。

- 講師：中神勇輝氏(真生会富山病院経営企画部)
- 受講料：2,200円(税込)
- 講義時間：約60分

サンプル動画はこちらから →



事務局掲示板

6月13日(日)実施の資格認定試験 2級は411人、3級は1,541人がエントリー

6月13日(日)に実施する第21回「医療経営士2級」、第33回「医療経営士3級」資格認定試験の受験エントリー期間が4月26日(月)に終了し、2級は411人(両分野受験)、3級は1,541人の方がエントリーしました。両試験の合格者は7月13日(火)に発表。本紙7月号では、試験結果の詳細をレポートする予定です。

2021年度試験ポスターが完成 掲示していただける会員の方を募集中!

2021年度「医療経営士」資格認定試験ポスターを掲示していただける会員の方を募集しています。ご希望の方は、「医療経営士試験ポスター希望」と件名をつけ、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、必要部数をご明記の上、下記お申し込みメールアドレスへご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしています。

また、A4判フライヤーもご用意しております。合わせてご応募ください。



【お申し込み】

E-mail: info@jmmpa.jp

PICK UP 研究会

5/21 北海道支部

病棟・外来業務とタスクシフティング ～医薬協働で残業時間を削減～

北海道支部では、北海道消化器科病院薬剤部薬剤師で、医療経営士3級の菊池義明氏が講師を務める勉強会を開催する。

菊池氏が所属する病院では、医師、看護師、事務職員等が協働して、タスクシフティングや薬物治療管理を实践。質の向上や安全性の確保、業務負担の軽減につながった。その事例を報告するとともに、同院におけるコロナ対応なども紹介する。

- 日時
5月21日(金)18:30～19:30
- 開催方式
オンライン(ZOOMによるライブ配信)
- 参加費(税込)
会員:2,000円/一般:5,000円
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会北海道支部
TEL:011-223-5125(担当:柴田)

5/21 関東支部

第32回神奈川研究会 『医師の働き方改革』の進め方 ～いつまでに何を達成すべきなのか!?～

関東支部神奈川研究会では、『医師の働き方改革』の進め方をテーマにした第32回研究会を開催する。講師は横浜市立大学医学部産婦人科客員研究員の鈴木幸雄氏。

医師の働き方改革は、いつまでに何を達成し、現在は何をすべきなのか。厚生労働省「医師の働き方の推進に関する検討会」の構成員でもある鈴木氏がこれまでの総括と今後の進め方を解説する。

閉会后、オンライン懇親会を予定。

- 日時
5月21日(金)19:00～21:00
- 開催方式
オンライン(ZOOMによるライブ配信)
- 参加費(税込)
会員:1,000円/一般:3,000円
- お問い合わせ先
神奈川研究会運営事務局
(済生会横浜市東部病院 医事企画室)
TEL:045-576-3000(内線:9707/担当:金城)

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

| 開催日 | 開催支部 | テーマ | 講師 |
|----------|------|---|--|
| 5月15日(土) | 東北 | 第1回青森勉強会 「診療報酬改定対応の流れ ～最速で対応する仕組みづくり～」 | 松谷厚聖氏(青森県立中央病院上席医事専門官) |
| 5月21日(金) | 北海道 | 病棟・外来業務とタスクシフティング ～医薬協働で残業時間を削減～ | 菊池義明氏(北海道消化器科病院薬剤部、薬剤師、医療経営士3級) |
| | 関東 | 第32回神奈川研究会 「『医師の働き方改革』の進め方 ～いつまでに何を達成すべきなのか!?～」 | 鈴木幸雄氏(横浜市立大学医学部産婦人科客員研究員) |
| 5月22日(土) | 東海 | 医師の働き方改革に向けた 労務管理上の課題・問題点とその解決策に迫る! | 渡邊健司氏(弁護士法人愛知総合法律事務所弁護士)/ 渡辺徹氏(千葉大学客員准教授) |
| 6月19日(土) | 関西 | 第25回関西医療経営勉強会 「職場におけるパワーハラスメントとは」 | 荒井雄作氏(中村・平井・田邊法律事務所弁護士、中小企業診断士、 医療経営士3級) |

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

日本ヘルスケア経営学院 WEB講座(実践研究講座)

コロナ禍・ポストコロナの医療をDXがどう変えていくのを知る!

実践研究! 「コロナ禍におけるDX」

講座概要



●講師:
金城悠貴氏
(社会福祉法人
恩賜財団済生会支部
神奈川済生会横浜市東部病院
医事企画室長、
医療経営士2級)

●講座内容:
①DXとは? ②コロナ前の医療ICT
③Society5.0 ④DXソリューション
⑤ビジョン逆算的に今どうするか
※講義内容の理解度が図れる「確認テスト」つき

●講義時間:
全65分
●受講料(税込):
医療経営士...3,300円
一般...4,400円

好評
配信中!

【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局(日本医療企画内) ☎03-3553-2862 https://hcmi-s.net/